

4ward Thinkers

瀬戸SOLAN学園初等中等部
2025年度第4学年 学年通信
第15号 7月18日発行

保健 「性について考えよう」

第1回目の保健の授業「性について考えよう」では、「保健の学びってどんなこと？」という問いかけからスタートし、子どもたちにとって身近な体や心の変化、命や人との関わりについて、これから学んでいくことを伝えました。性に関する学びでは、国際的にも重視されている①人間関係②人権・文化・セクシュアリティ③ジェンダー理解④暴力と安全確保⑤健康とウェルビーイング⑥人間のからだと発達⑦セクシュアリティと性的行動⑧性と生殖に関する健康 といった8つのポイントがあることを伝えました。

今回の授業では、まず「男女それぞれのよいところ・たいへんなところ」について、グループで自由に意見を出し合いました。子どもたちからは、「男子は、朝髪の毛のセットが楽でいい」「男子は女子の着替えを待つのが大変」「女性専用車両がずるい」「女子は痴漢被害にあうのが可哀想」「女子は子どもが産めるのがいい」「女子は子どもを産むのが大変そう」「女子は生理が大変」「生理ってなに？整理整頓？」などなど、素直な意見や感想が出ました。

続いて「世界に目を向けてみよう」として、ユニセフの資料を紹介し、世界では6～11歳の女の子のうち、多くが学校に通えないまま結婚してしまう現実があること、年齢が若すぎるまま出産をし、命の危険にさらされることもあることを知りました。4年生は驚いている子が多く、「自分たちは結婚するタイミングや相手を選べるのに、可哀想」という感想がでてきました。

最後に、LGBTQ+という多様な性のあり方についても簡単に紹介しました。性別は「男・女」のどちらかだけでなく、人それぞれ異なる考え方や感じ方があること、また世界には同性同士で結婚できる国があることなどにふれました。子どもたちからは「ふつうにあることだよね」という自然な反応も多く、受け止める柔らかさが印象的でした。

学習指導要領には3・4年生で「体の発育、発達」について学ぶようにと書かれています。これもまた大切な学習です。ご家庭での話題の1つになればと思っています。



